



The Heart of Industry

**IWAKI**

# 2020年3月期 決算説明資料

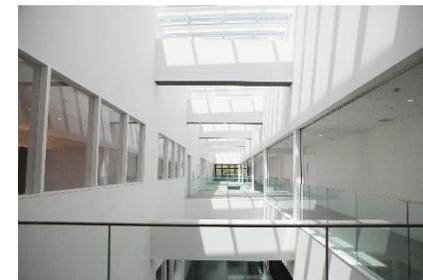
2020年5月14日

株式会社イワキ

証券コード：6237  
銘柄名：イワキポンプ

# 目次

<b>I. 2020年3月期 決算概要</b>	<b>・・・P 3</b>
<b>II. 2021年3月期 業績見通し</b>	<b>・・・P 13</b>
<b>III. 育成期 中期経営計画について</b>	<b>・・・P 19</b>



## ※本資料の略称

- I A : IWAKI America Inc. (米国子会社)
- I E : IWAKI Europe GmbH (欧州子会社)
- I J : 株式会社イワキ (日本)



# 2020年3月期 決算概要

# 1 2020年3月期 決算サマリー



The Heart of Industry

(百万円)

	2019/3期 金額	2020/3期	
		金額	前期比
売上高	29,171	28,636	▲1.8%
売上総利益	10,374	9,806	▲5.5%
(売上総利益率)	(35.6%)	(34.2%)	(▲1.3pt)
営業利益	2,337	2,114	▲9.6%
(営業利益率)	(8.0%)	(7.4%)	(▲0.6pt)
経常利益	2,847	2,578	▲9.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,163	2,122	▲1.9%
1株当たり 当期純利益 (円)	96.25	96.06	▲0.2%
為替レート (期中平均)	ドル	110.45	109.03
	ユーロ	130.35	122.03

1

**売上高は前年比▲1.8%（▲535百万円）の減収  
年度前半における半導体・液晶向け売上の落込みが影響**

- ✓水処理市場がけん引（特に米国）するも年度前半での半導体・液晶向け落込みが影響し減収。半導体・液晶について年度後半は回復基調。
- ✓医療機器向けは国内顧客における在庫調整が影響し、前年比▲2.0%（▲102百万円）の減収。同市場中国向けは好調。
- ✓地域別では米国向け前年比+7.5%（+287百万円）と順調に推移。
- ✓新型コロナウイルス感染症が2020年3月期に与える影響は軽微であった。

2

**営業利益は前年比▲9.6%（▲223百万円）の減益**

- ✓経費削減による増益はあったものの、  
売上減少及び原価率悪化により減益。

3

**親会社株主に帰属する当期純利益は微減で着地**

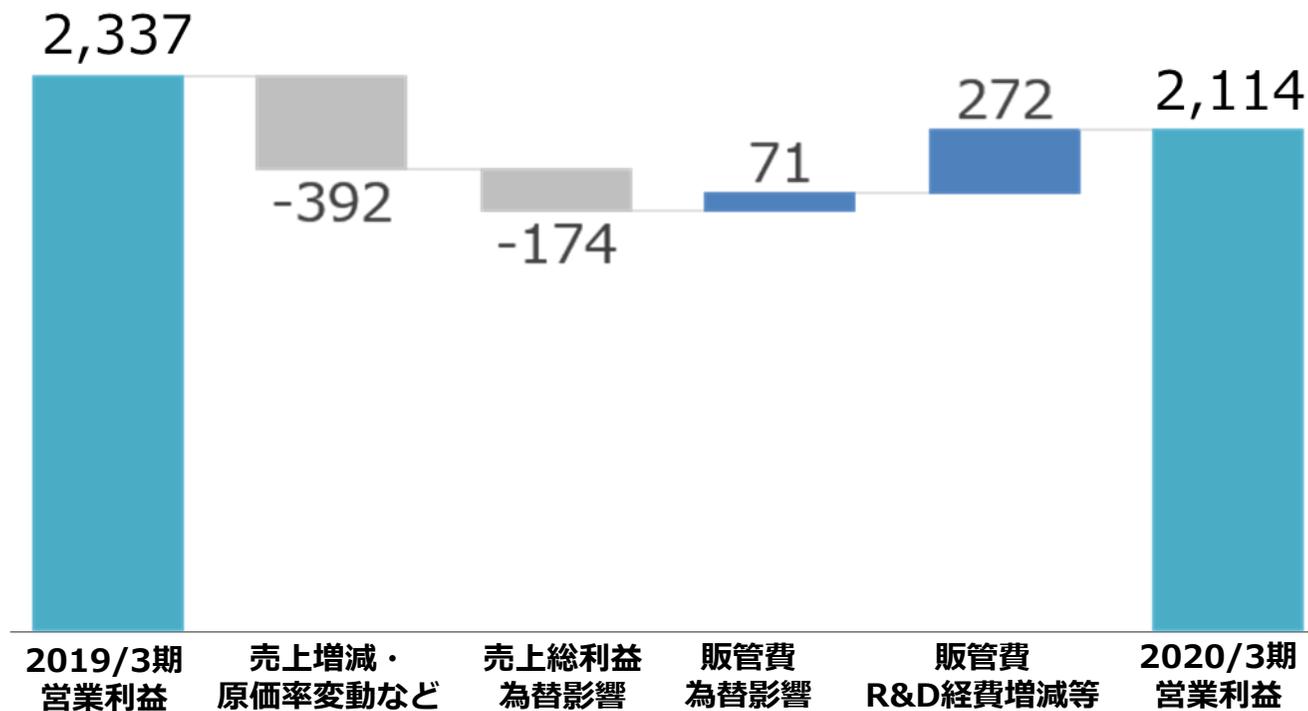
- ✓半導体・液晶向けをメインとするアジア方面の関係会社が低調、持分法による投資利益が減少（▲82百万円）
- ✓投資有価証券売却益 約1.5億、  
試験研究費に関する税額控除による法人税額の減少 約1億 等により、  
親会社株主に帰属する当期純利益は前年比▲1.9%となる。

### 3 2020年3月期 増減益分析

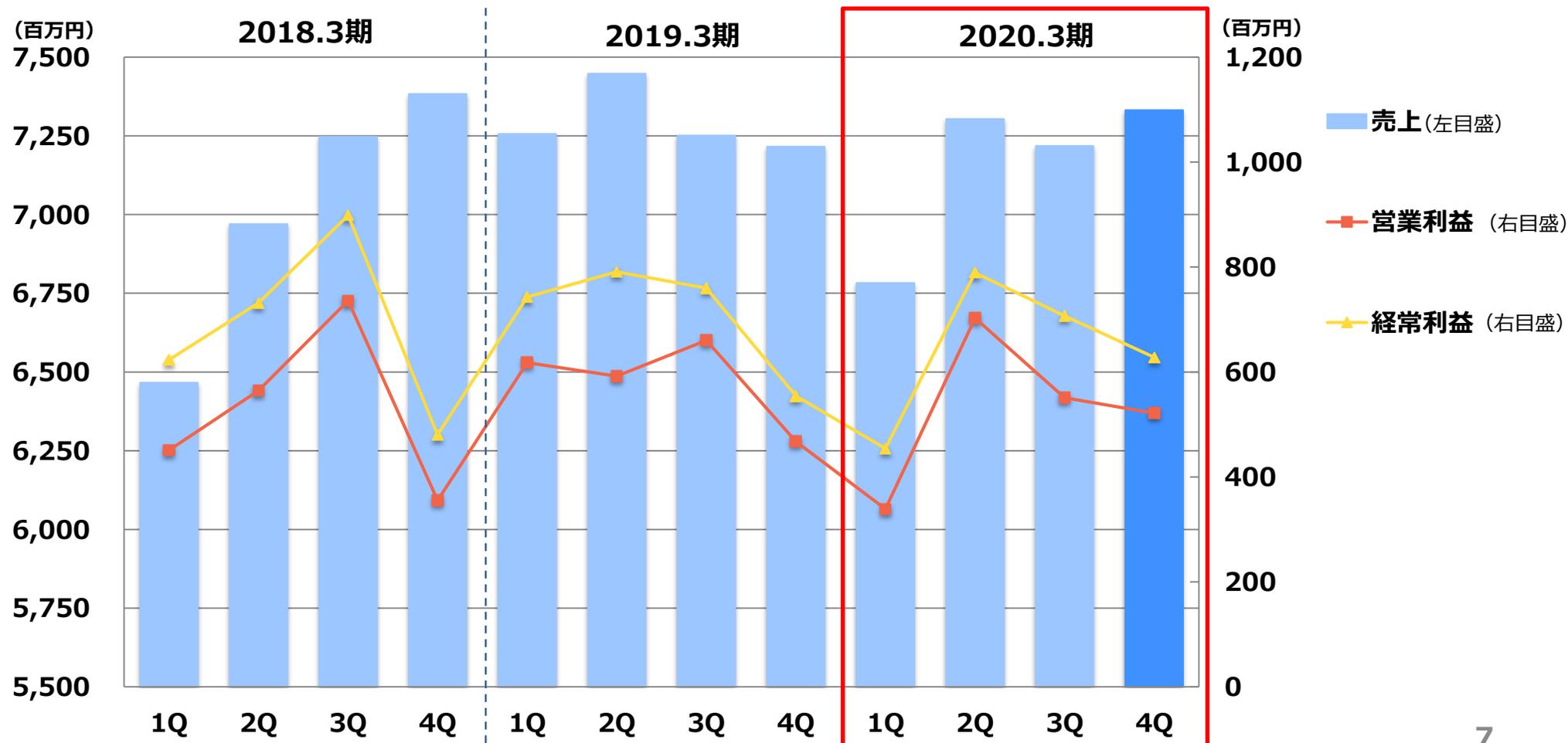
(単位：千円)

為替1円当たりの感応度	\$ (USドル)	€ (ユーロ)
売上	50,219	19,802
営業利益	15,198	10,472

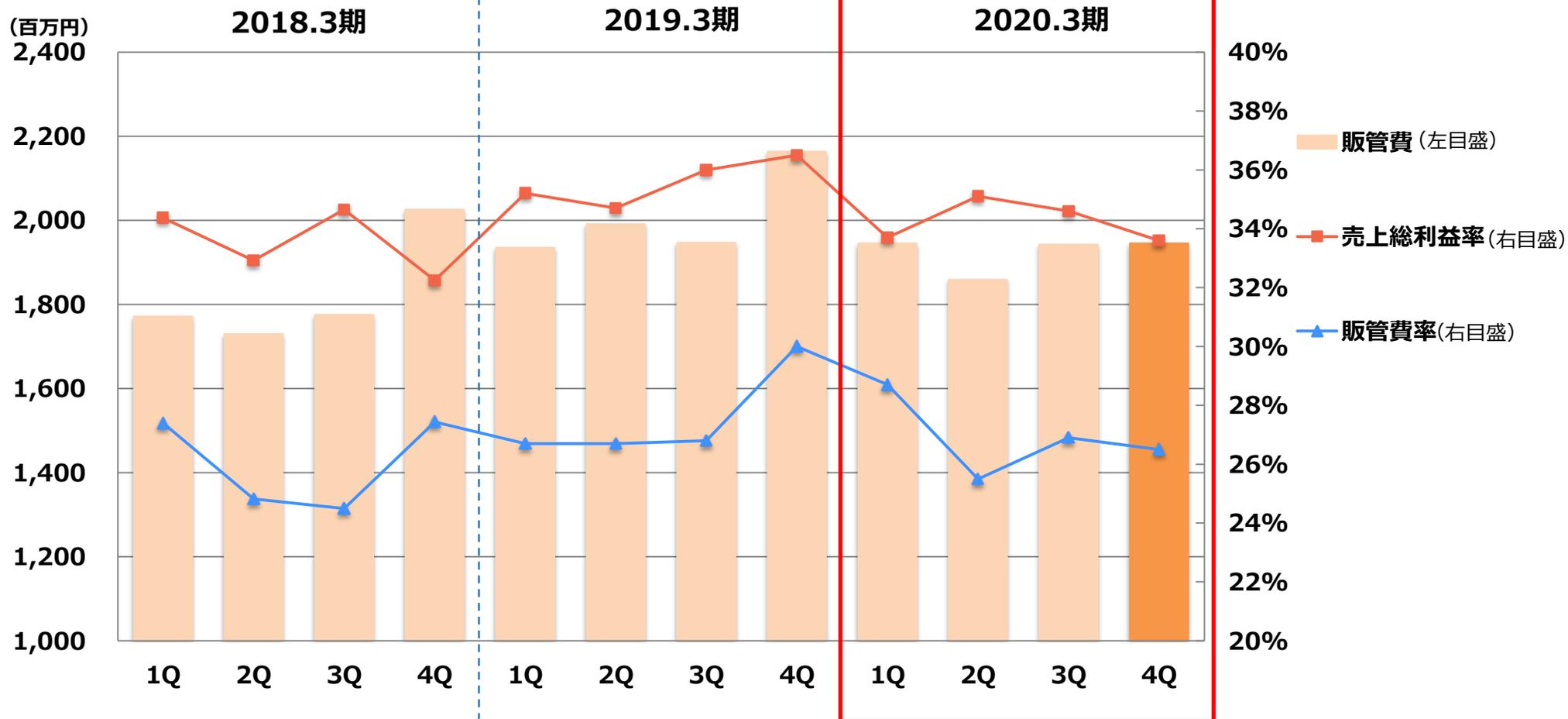
(百万円)



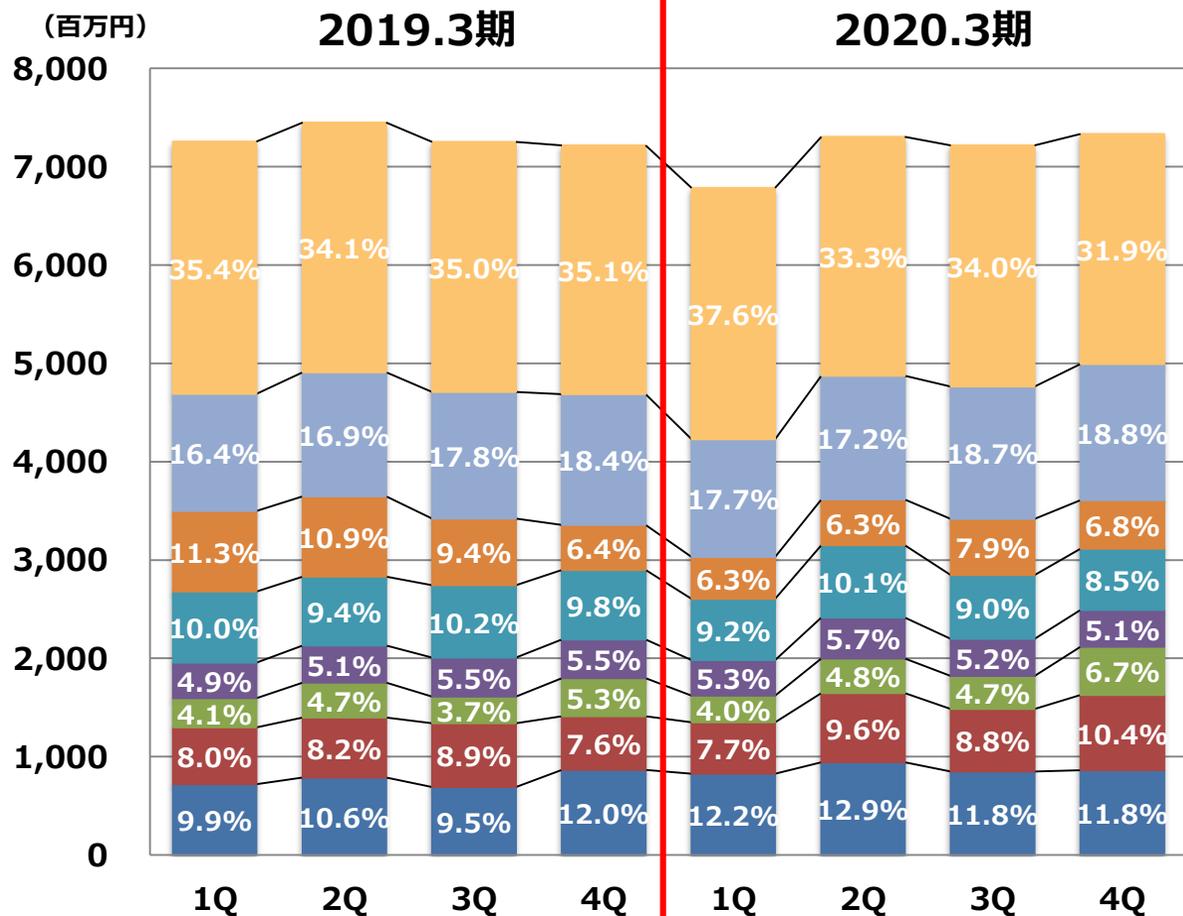
水処理市場のけん引、半導体・液晶、表面処理装置市場の回復基調を受け  
 当期4Qは当期Q別では最高売上となる。



従来4Qについては販管費が増加傾向にあったが人件費抑制により、  
 当期4Qについては当期3Qと同程度の販管費となる。



年度前半の落込みを受け半導体・液晶向け空気駆動ポンプは不調、  
 定量ポンプは堅調、システム製品（IA アクアティック）好調。

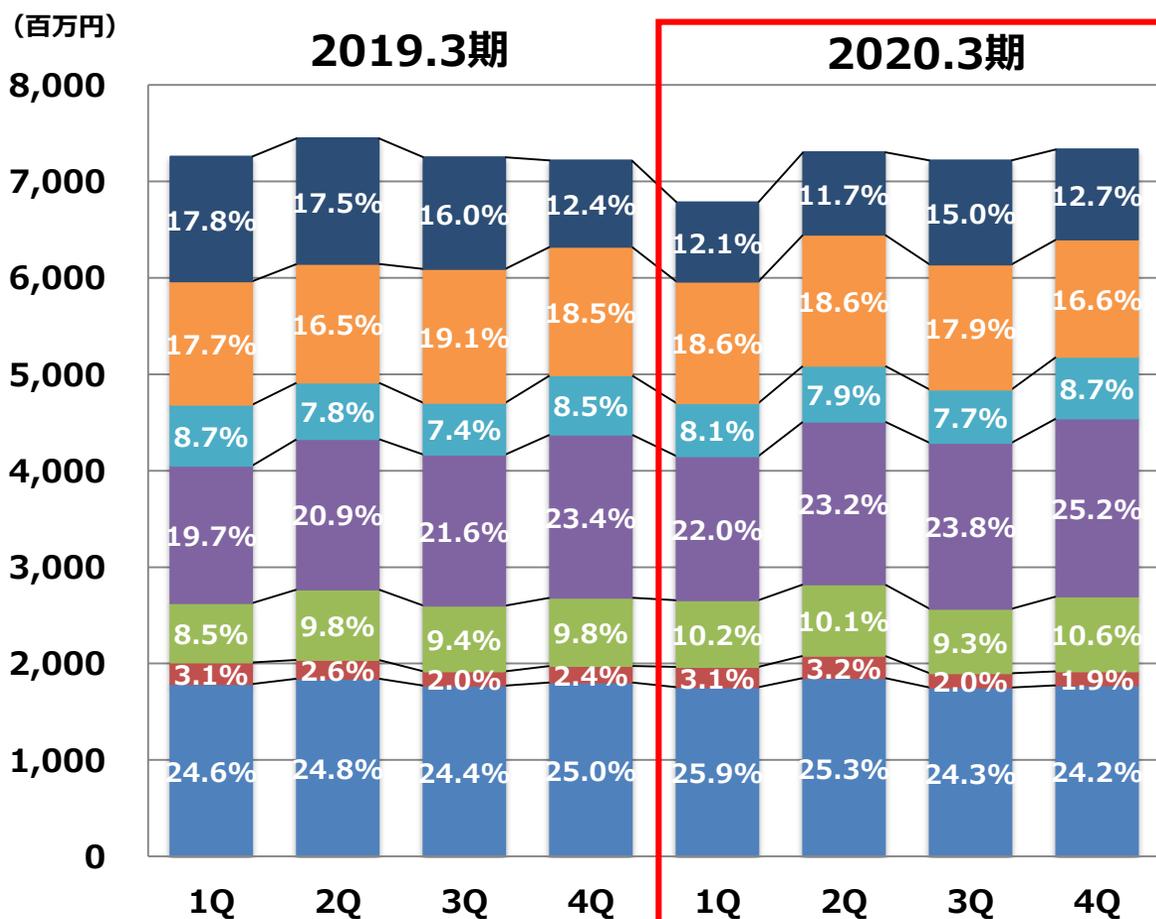


	2020.3期合計金額 (百万円)	変化率 (前年比)
■ マグネットポンプ	9,779	▲3.9%
■ 定量ポンプ	5,184	+2.3%
■ 空気駆動ポンプ	1,953	▲29.6%
■ 回転容積ポンプ	2,632	▲8.2%
■ エアーポンプ	1,527	▲0.0%
■ システム製品	1,454	+11.3%
■ 仕入商品	2,621	+10.0%
■ その他	3,482	+13.6%

売上占有率高い水処理向けは順調に推移。

半導体・液晶向けは不調であるが、各Q累計実績における前年比は改善傾向。

【参考】当期Q累計前年同期比推移 1Q：▲36.3% → 2Q：▲35.3% → 3Q：▲26.5%

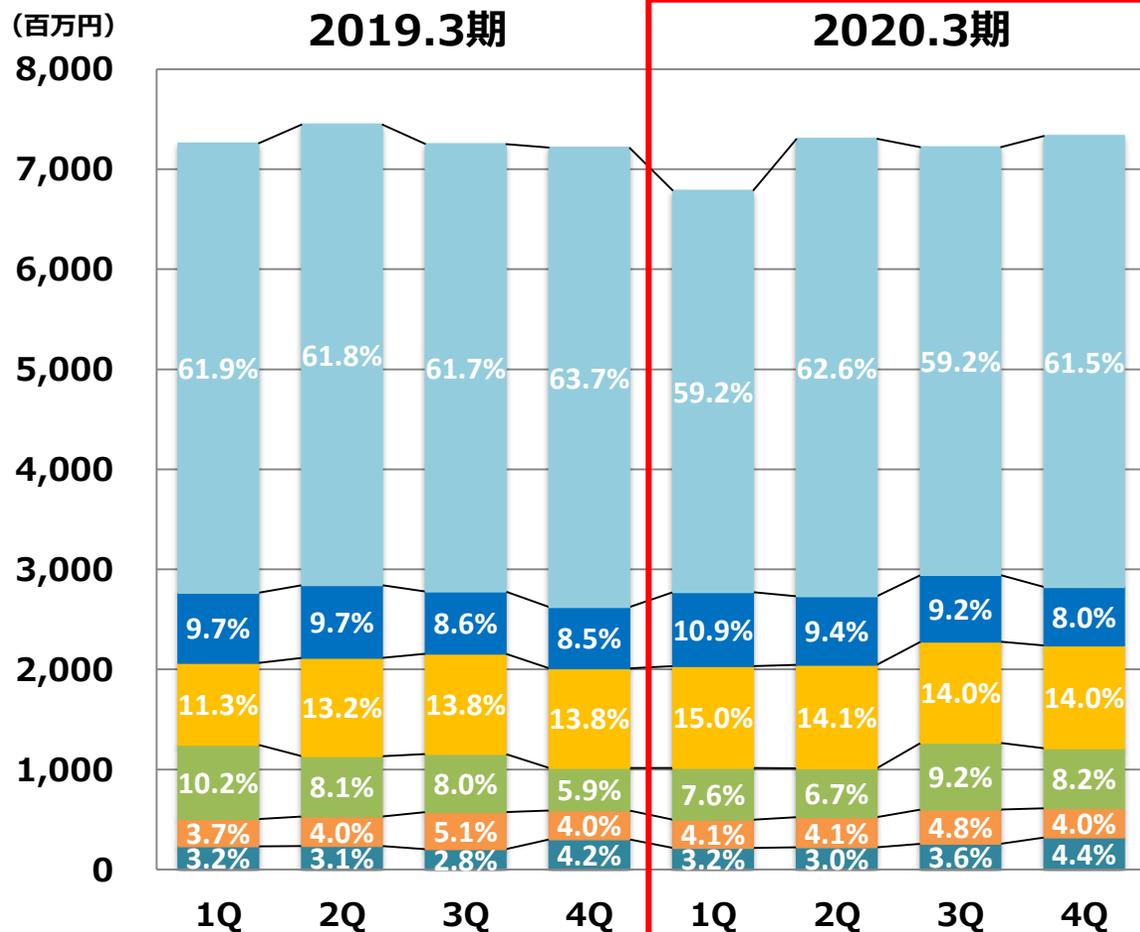


2020.3期合計金額  
(百万円)

変化率  
(前年比)

■ 半導体・液晶	3,695	▲20.5%
■ 医療機器	5,129	▲2.0%
■ 表面処理装置	2,321	▲1.9%
■ 水処理	6,750	+8.1%
■ 化学	2,874	+5.0%
■ 新エネルギー	734	+0.0%
■ その他	7,129	▲1.1%

国内、アジアは半導体・液晶の落込みが影響。  
 米国は引続き好調。



2020.3期合計金額  
 (百万円) 変化率  
 (前年比)

■ 日本 17,369 ▲4.4%

□ 海外計 11,266 +2.3%

■ ヨーロッパ 2,670 +0.5%

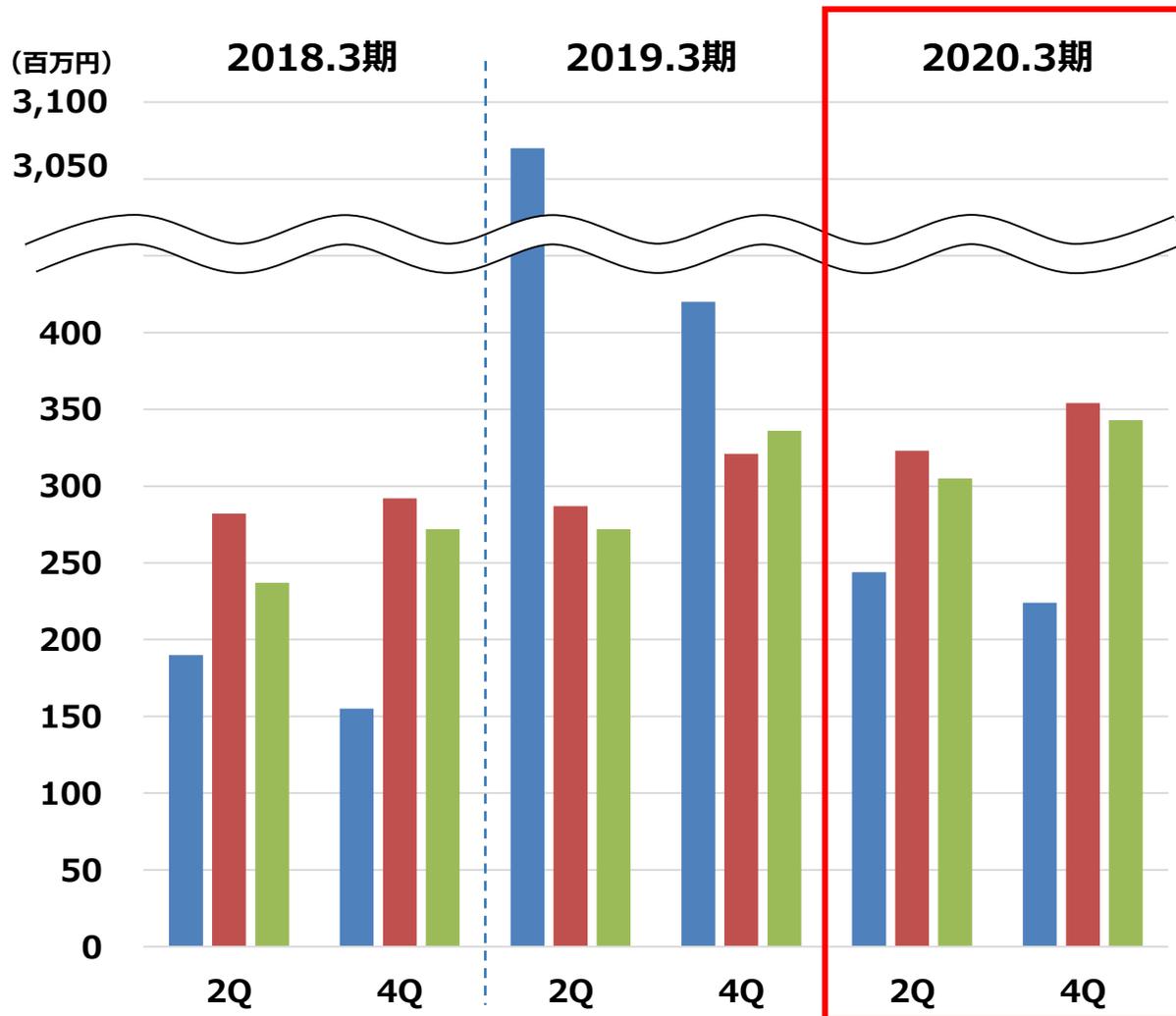
■ 米国 4,093 +7.5%

■ アジア 2,269 ▲3.4%

■ 中国 1,218 ▲0.7%

■ その他 1,014 +4.6%

海外売上高比率 39.3%



	2020.3期合計金額 (百万円)	増減額 (前年比)
■ 設備投資	<b>469</b>	<b>▲3,020</b>
■ 研究開発費	<b>677</b>	<b>+69</b>
■ 減価償却費	<b>649</b>	<b>+40</b>

※ 2019.3期2Qの設備投資は、  
 （新）技術センター分  
 28億62百万円が含まれています。



# 2021年3月期 業績見通し

	2020/3期 金額	2021/3期 (予)	
		金額	前期比
売上高	28,636		
売上総利益	9,806		
(売上総利益率)	(34.2%)		
営業利益	2,114		
(営業利益率)	(7.4%)		
経常利益	2,578		
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,122		
1株当たり 当期純利益 (円)	96.06		
為替レート (期中平均)	ドル	109.03	
	ユーロ	122.03	

精査中

※66期予想については、  
開示可能となった時点で速やかに開示予定

### 1 国内拠点

- ✓テレワーク・輪番制出勤・時差出勤対応や  
従業員への健康管理対策を実施中。
- ✓国内生産拠点（埼玉、三春）は通常稼働しており、  
調達も特段問題なく行えている状況。
- ✓営業活動については、客先への訪問活動が一部制限されている状況。

### 2 海外拠点

- ✓中国グループについて、香港は春節明け2月3日より稼働中。  
上海、広州、深圳、北京の拠点及びノックダウン工場である広東は、  
3月2日より稼働中。（春節明け～稼働まではテレワーク対応）
- ✓IAは、所在する米国マサチューセッツ州より「必要事業」として認定。  
外出禁止令発令以降も感染防止対策を講じた上、通常稼働している状況。
- ✓IEは、輪番制出勤。アジア地域の主要会社はテレワーク主体の稼働。
- ✓各国外出規制により営業活動が制限されている状況。

### 3 新型コロナウイルスに関連する需要について

- ✓中国 臨床検査装置（免疫分析装置+生化学分析装置）の  
需要増によるポンプ増産要請あり。
- ✓消毒剤等生産ライン向けポンプの需要増。
- ✓消毒剤関連装置向けポンプの需要増。
- ✓稼働停止中の工場におけるメンテナンス需要あり。

## 【市場環境の想定】

各市場	国内	海外
<b>水処理市場</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消毒等のニーズ拡大から当該関連装置が堅調</li> <li>・リモートワークや人の移動制限等により遠隔操作用コントローラの需要が高まる</li> <li>・水処理プラントは投資控えにより低迷</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バラスト水処理装置向けが堅調</li> <li>・世界的に殺菌用途の特需あり</li> </ul>
半導体・液晶市場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該製造装置メーカー向けが軟調</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メモリに関して設備投資再開の兆しあり</li> </ul>
<b>医療機器市場</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床検査装置（免疫分析装置＋生化学分析装置）は2Qに掛け若干減産の見込</li> <li>・内視鏡洗浄装置向けが堅調</li> <li>・人工透析装置飽和状態により生産調整が顕在化し軟調</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国 臨床検査装置（免疫分析装置＋生化学分析装置）向けが堅調</li> </ul>
<b>新エネルギー市場</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次電池市場(LiB)が軟調</li> <li>・家庭用燃料電池がCOVID-19で大幅な減産</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・COVID-19感染収束後に二次電池投資再開の兆しあり</li> </ul>
化学市場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高付加価値製品の開発堅調</li> <li>・COVID-19薬開発にて製薬会社の投資需要拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原料調達に関してアジア市場を中心に不透明感あるが、二次電池材料はCOVID-19収束後に投資再開の兆し</li> </ul>
表面処理装置市場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車載・IoT市場向けなど高付加価値電子部品の需要拡大</li> <li>・スマートフォン市場が軟調</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車載、通信用途の電子部品需要は継続</li> <li>・COVID-19感染の影響でPCB装置メーカー需要が軟調</li> </ul>

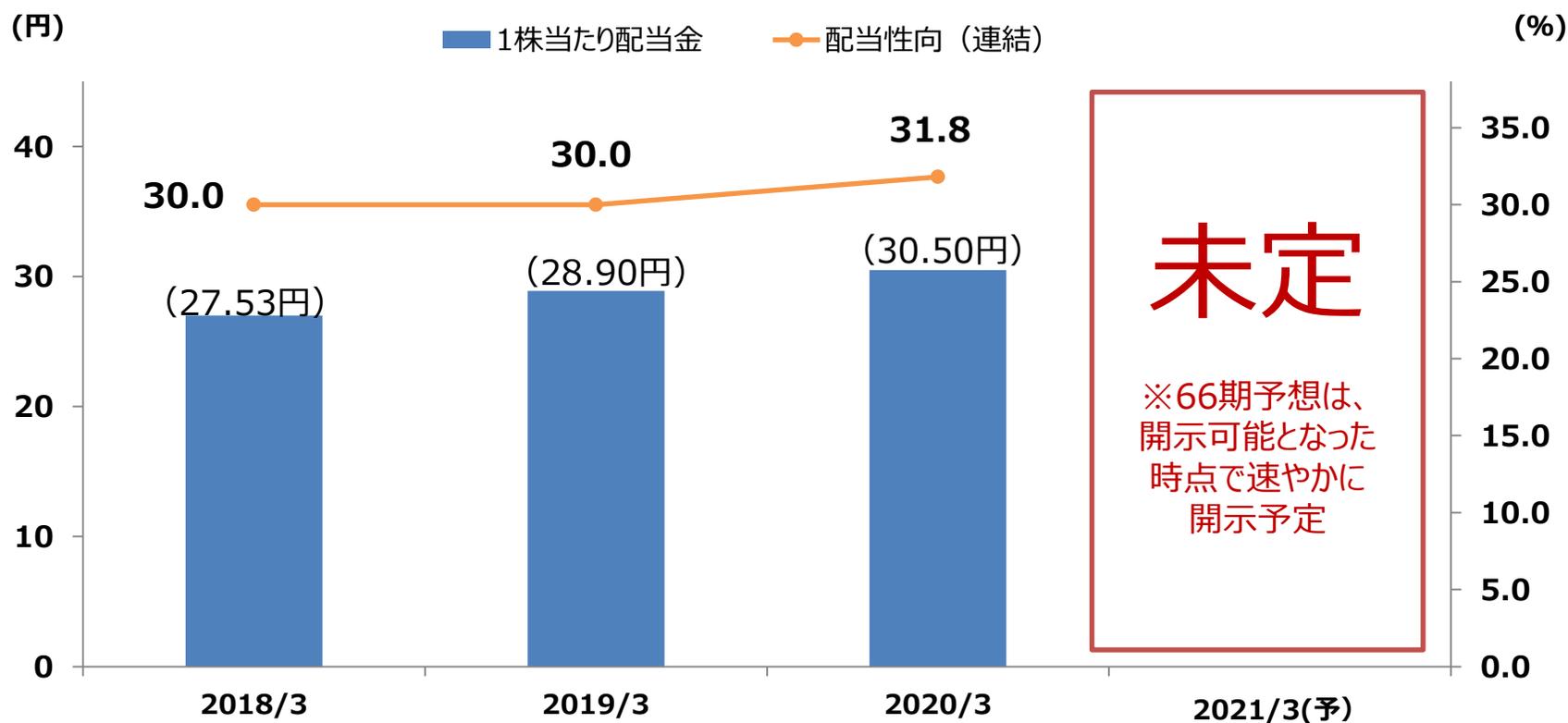
※ 太字市場は当社強化市場

※ 赤色はネガティブな見通し

## 基本方針

・配当性向30%超

・継続的な配当



(注) 2018/3は株式の3分割を考慮し、算定しています。(小数点第三位以下は切捨)



# III 育成期 中期経営計画について

# 1 10年ビジョンの概要

2016/3期

17/3期

18/3期

19/3期

2020/3期～2022/3期  
育成期中期経営計画期間

2025/3期

## 連結売上高

定量目標



6.1% — 5.8% — 7.5% — 8.0% — 7.4% — 精査中 — 営業利益率 → 10.0%

※オレンジ色は予想

定性目標

## オールイワキで世界No.1を提供する

～ グループ一丸となり、世界No.1の製品、品質、価値、サービスを提供する ～

## 目標を達成するための姿勢「チェンジ&チャレンジ」

～ 変革と挑戦に躊躇しない企業文化の定着を目指す ～

## 現中期経営計画は、10年ビジョン達成に向けた育成期

### 重点テーマの設定

- 10年ビジョン定量目標を達成するための具体的各種施策の設定
  - 1) 生産体制の再構築    2) 生産及び販売計画の精度向上
  - 3) 不具合の撲滅        4) 全社の生産性向上
- 持続的な企業価値向上に視点を置いた経営の推進
  - 1) 人事制度の抜本的な見直し    2) 基幹システムの刷新
  - 3) IOTの活用                        4) CSR活動

#### ● 10年ビジョン達成に向けたステップ



### 3 育成期中期経営計画の主な進捗状況

		具体的計画の主な進捗状況	達成状況	今後の課題
国内営業	競争のSWOT分析を関連部門で共有化し、リプレイス		○	継続強化
	ソリューションビジネスの定着化のため、システム販売推進 メンテナンスとの協業に依り差別化推進		○	継続強化
	市場要求（納期）対応のため、短納期施策を実施		○	対応機種拡大
海外強化市場 （新規事業） 並びに	米国	水処理市場（飲料水・食品業界）の深耕 アクアテック事業※1の深耕及び、欧へのアプローチ	○	コントローラ販売チャネル強化 （欧・アジア・新興国市場）
	欧州	化学・化工機プラント市場の攻略	▲	全欧州にIEの販売戦略の浸透 水処理市場の競争対策
	アセアン	統括本部設置、経費削減、物流在庫及び物流経路の効率化等の利点追求、メンテナンスの体制整備、確立	×	販売地域の整備、販売体制の確立 強化市場を継続推進 水処理市場の拡大
	中国	医療機器市場を開拓	△	新エネルギー・水処理市場の販促強化
投資	IE生産設備、ERP※2導入の投資実施、中国生産委託会社の開拓及び部材調達を拡大		△	IEの設備投資を継続。中国での委託会社開拓と部材調達拡大を継続
	業務提携、ポンプ周辺事業のM&Aを推進		▲	継続して検討中

※1：小型魚類飼育水槽システム  
 ※2：統合基幹業務管理システム

達成率 ○：70%以上 △：70%未満～50%以上  
 ▲：50%未満～20%以上 ×：20%未満

# 4 育成期中期経営計画の主な基本方針

## 基本方針 1

### 強化市場への経営資源の優先投入

- ・ 水処理市場 → ウォルケムコントローラとのシナジー
- ・ 医療機器市場 → 海外新規OEM・新製品
- ・ 新エネルギー市場 → 二次電池製造・大型蓄電池設備

## 基本方針 2

### 課題解決型ビジネスの展開

- ・ 顧客対応力の強化 → 短納期対応製品の増加
- ・ ソリューション事業  
→ 実液シミュレーションテスト提案
- ・ IoTの有効活用 → 新ビジネスモデルの検討・構築

# 10年ビジョン達成

## 基本方針 3

### 新規事業のビジネスモデル構築

- ・ アクアティック事業 → 欧州及び中国市場にアプローチ  
継続して日・米市場の推進拡大
- ・ 技術/メンテナンスによる顧客サポートの推進  
→ IJ技術者の販促サポート  
現地に即したメンテナンス員の育成

## 基本方針 4

### 海外戦略地域の統括運営

- ・ アセアン地域プロジェクト → 継続推進
- ・ 各国・各地域のマーケットの採用
- ・ ITインフラ整備 → 基幹システム見直しに伴う  
ITインフラの最適化

# 5 育成期中期経営計画の主な具体的方針

## 1. 国内市場

- 競合リプレイス需要の獲得
- ソリューションビジネスの継続深耕
- 顧客向けIOTの推進
- CS向上の継続
- 市場要求(製品、部品、納期等)対応



## 2. 海外市場

国	海外各市場における強化市場	注力する具体的用途
米国	医療機器、水処理	医療分析、産業用水処理、アクアティック
欧州	水処理、化学・化工機、新エネルギー、冷却	システム製品、風力発電、船舶搭載装置
アセアン	医療機器、表面処理装置、水処理、化学	表面処理装置、水質管理
中国	医療機器、水処理、新エネルギー	医療分析、水処理プラント、二次電池
韓国・台湾地域	水処理、新エネルギー	水質管理、表面処理装置、二次電池

## 3. 投資について

- 欧州子会社生産設備の強化、物流関連強化
- 事業の拡大に向けた業務提携、M&Aの検討

## 1

**テクノエコー株式会社（完全子会社）の吸収合併**

- ✓当社グループ経営資源の有効活用と経営効率化を図ることを目的とし、合併を実施する。
- ✓当合併により、同社製品である残留塩素計とポンプとのシナジー効果をより高いものへ。
- ✓合併予定日は2021年4月1日。

## 2

**Iwaki Nordic A/S（イワキノルディック）の連結子会社化**

- ✓持分法適用関連会社であるIwaki Nordic A/S（イワキノルディック）を連結子会社化へ。（当社100%子会社であるIEが同社株式を取得）
- ✓北欧地域を欧州における重要な販売拠点として位置づけており、さらなる競争力強化のため同社をグローバル運営体制に組み入れる。
- ✓株式取得予定日は2020年6月30日。

# 免責事項及び将来見通しに関する注意事項

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社イワキ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、2020年5月14日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

## 【お問合せ先】

E-mail : [ir@iwakipumps.jp](mailto:ir@iwakipumps.jp)  
TEL : 03-3254-2931  
受付時間 : 9時～17時30分